

## 各専門部会の今年度の取り組みについて (令和2年度)

**相談支援部会**

**就労支援部会**

**精神保健福祉部会**

# 令和2年度 相談支援部会 年間活動報告書

## 令和2年度の主な取組内容

- ◆ 新型コロナウイルスへの対応の検証と今後の対策を検討
- ◆ 教育分野との更なる連携について検討

## 活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	7月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の部会のテーマについて</li> <li>・新型コロナウイルスへの対応の検証と今後の対策について</li> <li>・「あなたと私の権利を守るサポートBook」(仮称)について</li> <li>・相談支援事業所連絡会及び障害児通所支援事業所連絡会における取り組み状況や課題について</li> </ul>	
第2回	9月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉施設における感染症対策研修について</li> <li>・教育分野との更なる連携について</li> <li>・「あなたと私の権利を守るサポートBook」(仮称)について</li> </ul>	オンライン開催
第3回	12月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あなたと私の権利を守るサポートBook」(仮称)について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題について</li> <li>・教育分野との更なる連携について</li> </ul>	オンライン開催
第4回	2月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の取組の振り返り</li> <li>～コロナ対応検証・教育との連携・事業所連絡会など～</li> <li>・次年度の取組について</li> </ul>	オンライン開催
研修会	7月31日	障害福祉施設における感染症対策研修 ～新型コロナウイルス感染症の第二波に備えて～ 講師：立川相互病院 医療安全管理室感染管理認定看護師 伊藤淳	
相談支援事業所連絡会	6月19日 7月16日 8月20日 9月17日 10月16日 11月19日 12月17日 1月21日 2月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所における現状・課題の報告</li> <li>・事例検討及び合同研修について</li> <li>・切れ目のない相談支援体制について</li> <li>・計画相談に関わる手続きの更なる効率化について</li> <li>・障害者施設における感染症対策について</li> <li>・「あなたと私の権利を守るサポートBook」(仮称)について</li> </ul>	オンライン開催 (6, 7, 1, 2月)
障害児通所支援事業所連絡会	7月9日 1月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所における現況報告</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策</li> <li>・障害児通所支援事業所と保育・教育との連携について</li> <li>・リスクマネジメントについて</li> </ul>	

## 成果・活動から見えてきたことなど

新型コロナウイルス感染拡大、2度の緊急事態宣言発出の影響により、相談支援部会・相談支援事業所連絡会の開催延期や、オンライン形式への開催方式変更等、部会運営にも大きな影響が及んだ1年であった。

コロナ禍ではあらゆる福祉サービスが影響を受けたが、相談支援専門員もご利用者の状況把握や、サービス提供事業所との連絡・調整に追われることとなった。また、相談支援の一丁目一番地である「面談・モニタリング」が感染拡大防止の見地から制限を余儀なくされるなど、困難な状況が続いていた。

障害福祉サービスは障害がある方の生活に欠くことができないものであり、特に居宅での支援やグループホームについては感染者が発生したとしてもサービスの一時停止や閉所することは困難である。だからこそ市内事業所が新型コロナウイルスに対して正しい知識を有して効果的な感染症対策を実施すること、そして市内事業所が枠を越えた協力体制を構築することが必要と考え、国分寺市の協力を得て開催したのが「障害福祉施設における感染症対策研修」であり、国分寺市、障害者基幹相談支援センター、市内法人の担当者が集い新型コロナウイルスに関する対策を協議した「国分寺市障害者施設担当者意見交換会」であった。意見交換会では、一定期間確保できた物件を「家族が罹患入院し、残された障害当事者が濃厚接触者となった場合においても経過観察期間中過ごせる緊急保護の場」として活用するための協力・連絡・運用体制を構築することができたことは大きな成果と言える。

もう1つのテーマである福祉と教育の更なる連携については、福祉と教育の相互理解の促進、そして保護者を含めた情報共有と3者が気軽に相談できる環境の構築が必要であり、まずは福祉事業所が学校のことを知る、そして学校にもより福祉事業所のことを知っていただき、気楽に連絡できるような関係を目指した取組を進めた。その第一歩が2月開催の障害児通所支援事業所連絡会であり、国分寺市教育委員会より指導主事、都立立川学園特別支援学校(仮称)開設準備室長が出席し、質疑応答や情報交換を行うなど、国分寺版「トライアングルプロジェクト」とも言える連携が始まったと言える。

また、相談支援事業所連絡会では、ライフステージにおける切れ目のない相談支援体制についての協議を継続しており、定例会では「児童から成人」への移行を控えたケース検討会を4例実施した。また、各相談支援専門員が抱える支援困難事例についても、個人情報保護に十分配慮したうえでケースを検討すると共に、地域課題の明確化や情報共有を行う等、同連絡会は相談支援専門員の学び舎としての役割を有し、相談支援の向上にも着実に寄与していると考えられる。このような取組はまさに地域生活支援拠点等における「地域の体制づくり」に係る機能であることから、今年度より市内相談支援事業所を地域生活支援拠点に位置付けることとなった。次年度においても相談支援部会を中心に、市内がワンチームとなつての相談支援体制への取組を進めていきたい。

## 今後の活動予定

	日にち	内容	備考
相談支援部会	5月18日	・今年度の取組について	
第1回	9月21日		
第2回	12月9日		
第3回	2月10日		
第4回			
相談支援事業所連絡会	毎月	・各事業所における現状・課題の報告 ・事例検討及び合同研修について ・切れ目のない相談支援体制について	
障害児通所支援事業所連絡会	7月頃 2月頃	・事業所間の連携・情報共有について ・教育との更なる連携について	

# 令和2年度 就労支援部会 年間活動報告書

## 令和2年度の主な取組内容

就労支援に関する地域の課題の掘り起こしと各課題解決のために必要な取組について協議

- ◆ 商業施設での物品販売の実施について
- ◆ 一般企業実習先の開拓について
- ◆ お仕事ネットワークの連携活性化について

## 活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	7月28日	① 各作業部会の取組状況報告 ② 令和元年度就労支援部会活動報告 ③ 今年度の取組について協議 ＊商業施設での物品販売について ＊一般企業実習先の開拓について ＊お仕事ネットの連携活性化について ④ 次期障害者計画等策定に係る意見聴取について	
第2回	9月30日	① 各作業部会の取組状況報告 ② 商工会との連携について ③ お仕事ネットワークの取組について ④ 来年度就労支援部会における研修及び講義等について ⑤ 国分寺障害者施設お仕事ネットワーク 秋のSweets&Hand Made Fairについて	オンライン開催
第3回	12月9日	① 各作業部会の取組状況報告 ② お仕事ネットワークの取組について ③ 実習先の開拓について ④ ニュースレターN0.8について	オンライン開催
第4回	2月3日	① 各作業部会の取組状況報告 ② お仕事ネットワークの取組について ③ 実習先の開拓について ④ 次年度の取組について	オンライン開催
農福連携に関する協議	1月19日	＊ トマト加工品の学校給食への提供について ＊ お仕事ネットワークにおける取組について ＊ 今後の取組内容や方向性について	オンライン開催
国分寺障害者施設お仕事ネットワーク	8月20日 9月17日 10月14日 11月12日 12月10日	＊ 共同受注進捗状況等の報告(毎月) ＊ 役員の交代に関すること ＊ 市役所清掃等, 受託事業所の交代等の調整に関すること ＊ 受注開拓に向けた, 役務提供等における請負価格の提示等に関すること	庁内書庫棟 (8月) リオンホール (9月～12月)

就労移行支援 事業所連絡会	8月25日 1月14日	* 庁内実習に関すること * 近隣市域での実習先の開拓について * 次年度の取組について	オンライン開催 (1月)
------------------	----------------	--	-----------------

## 成果・活動から見えてきたことなど

新型コロナウイルスの影響により、上半期は各作業部会の会議開催等が休止となり、部会全体としても活動がやや停滞しました。

下半期については、市と地域活性化連携包括協定を締結している事業者の協力を得て、お仕事ネットワークの販売会を開催したり、近隣市域ではあるが新規実習の受け入れ先の開拓が進んだりするなど、一定の成果をあげることができました。

これらの取組が継続的なものとなるためには、協力していただく方々の期待に応えるよう努力し、良好な関係性を築くことが大切と感じています。

お仕事ネットを主体とした就労事業所における共同受注については、年々着実に増加傾向にあり、今後も更なる受注機会を得ていくためには、懸案となっている近隣他市の事業所やネットワークとの連携を推進していく必要があると考えています。

また、一般就労に向けた実習先の開拓についても、実習を必要とする方の状況にあわせて、体験的な実習機会と実践的な実習機会の両方が、地域において年間を通じて提供できるようになると、より効果的な就労支援につながると考えています。

なお、農福連携についてはこれまでの協議の中で、様々な方向性を模索してきましたが、生産農家やJA など農業関係者の方々が非常に意欲的であるのに対し、福祉事業者側が、設備環境面や人員体制面等の克服が難しい課題に直面し、消極的になっていることがなかなか連携が進まない要因と感じています。

引き続き連携の在り方を検討するのであれば、設備面や人員体制等をそれほど気にすることなく、多くの事業者が取り組みそうなことといった点を考慮しなければならないと思っています。

部会全体の運営面に関しては、今年度もお仕事ネットを中心とした福祉的就労や、就労移行支援事業所連絡会を中心とした一般就労に向けた実習、農福連携に関する協議など各作業部会の取組課題を中心に議論しましたが、その結果、それらの課題について、直接的な関わりが弱い委員の方に活躍していただく場面が乏しくなってしまった点が課題と感じました。

他市の就労支援部会ではどのような取組を行っているのか参考にしたいという意見もあがっていますので、次年度は、他市の取組についても情報を収集し、部会のなかで協議できると良いと考えています。

## 今後の活動予定

国分寺障害者 施設お仕事 ネットワーク	3月11日 (定例会)  3月26日～28日	* 共同受注進捗状況等の報告 * 次年度の取組等について  春の Sweets & Hand Made Fair セレオ国分寺1階ぶんじマーケット自由通路	出店事業所4
---------------------------	---------------------------------	---	--------

## その他

就労支援部会における作業部会

- ① 農福連携に関する協議
- ② 国分寺障害者施設お仕事ネットワーク
- ③ 就労移行支援事業所連絡会

# 令和2年度 精神保健福祉部会 年間活動報告書

## 今年度部会の主な取組

- ◆全体を通じて「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて協議を行う。(継続)
- ① 「地域生活支援拠点」の精神障害者の活用法を検討する。
  - ② 精神科病院に長期入院中の方への地域移行支援について、ワーキンググループを立ち上げ、病院へのアプローチを行い、より具体的な課題の把握を行う。
  - ③ 精神障害者のコロナ禍ならびに災害時における支援について課題の抽出と対応を協議する。
  - ④ 精神障害当事者の方から生活状況や暮らしのニーズ等をヒアリングし、今後の支援の課題を抽出する。

## 活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	7月30日 (木)	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 障害福祉計画への部会としての意見反映について</li> <li>② 長期入院をしている国分寺市民の状況把握のための具体的な活動</li> <li>③ 精神障害の理解に関する広報活動 ・市報に掲載する情報の検討</li> <li>④ 今年度の協議内容について ・精神障害者の方にとっての地域生活支援拠点について ・精神障害当事者の気持ち、状況、ニーズを直接伺う機会をもつ。</li> <li>⑤ 新型コロナウイルス感染症に対する各機関の対応並びに実践課題</li> </ol>	<p>→医療機関への調査を踏まえて「地域移行支援ワーキンググループ」(WG)を編成する。</p> <p>→介護体制の維持に関する協議</p>
WG会議	9月15日 (火)	WGの編成の核は市・基幹・地活とし、必要に応じて部会構成員を集める。 活動予定、病院訪問の手法及び要点について	
第2回	9月25日 (金)	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 長期入院中の国分寺市民の状況把握とアプローチ方法(WGの活動について) ・WG会議(9/15)の報告と提起</li> <li>② ・コロナ禍における支援課題について ・各機関の対応の現況を交えて</li> <li>③ 地域生活支援拠点の機能について ・市内法人間の連携について</li> <li>④ 当事者ヒアリングについて ・開催時期と招聘対象者の検討</li> <li>⑤ その他 ・市報掲載情報の確認 ・講師等依頼のイメージについて</li> </ol>	<p>→保健所 PHN, 根岸病院 PSW をアドバイザーとして依頼</p> <p>→処方薬, 食材の確保の必要, 感染発生の際の具体的対処や配慮について</p> <p>→複数人をイメージ</p>
WG病院訪問	11月24日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院各部署との意見交換, 情報共有</li> <li>・病院として地域に求めることについて</li> </ul>	

国分寺市相談支援スキルアップ研修ネットワーク研修Ⅰ	12月22日 (火)	・部会長より精神保健福祉部会の報告 (精神科病院へのアンケート結果を受けてワーキンググループ(WG)を結成した経緯等) ・東京都精神障害者地域移行体制整備事業の報告(多摩地域の地域移行の動きを都体制整備担当ならびにコーディネーターからの報告等)	★基幹相談支援センター事業
第3回	12月22日 (火)	・上記ネットワーク研修Ⅰの報告 ・地域移行支援WGの活動について報告 ・コロナ禍や災害時における支援について ・地域生活支援拠点の在り方について ・当事者ヒアリングの要点整理 等	→11月24日根岸病院訪問実施
第4回	2月9日 (火)	・コロナ禍における現状と支援課題 ・WGの取り組みと今後の動きについて ・精神障害当事者よりのヒアリング ・次年度に向けての課題・取組について協議	→2名の方より聴取

### 成果・活動から見えてきたことなど(課題整理)

- ◆昨年度実施した「長期入院の実態把握のためのアンケート調査」に向けた結果をもとに、部会構成員による地域移行支援ワーキンググループ(WG)を編成し、病院のスタッフとの意見交換を通じて、病院と地域相互の課題意識のすり合わせ、また今後地域移行を具体的に進めていくために必要な要素の割り出しなどが行われた。今後も活動を重ね、入院者の個別の支援も織り込みながら進展させていきたい。なお本活動は、多摩立川保健所 PHN, 根岸病院 PSW をアドバイザーとして位置づけることも確認している。
- ◆コロナ禍によって改めて地域での生活における支援ニーズが浮き彫りになってきている。災害時の支援にも通じるこれらの支援ニーズを整理し、地域生活支援拠点の機能充実に結び付けていく必要がある。また、一法人のみではなく、市内を一つの支援機関とみだてて各機関が連携していくことの重要性も指摘されている。これらの検討が「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に連動していくことを共有した。
- ◆精神障害当事者よりの直接的なヒアリングから支援ニーズや地域生活における課題をより具体的に把握することができた。今後もこれらの課題やニーズを引き続き確認・共有し、地域生活支援拠点の整備ならびに精神障害にも対応した地域包括支援システムの構築につなげていく。

### 今後の活動予定

- ◆当事者ヒアリングは継続的に実施し、幅広くニーズや課題を把握していきながら地域生活支援拠点や「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築につなげていく。
- ◆地域移行支援ワーキンググループの活動を進展させ、病院との関係づくりと個別支援の両輪で地域移行支援に必要な体制整備の検討を進めていく。

### 次年度の活動スケジュール

第1回:令和3年 5月21日(金) 第2回:令和3年 9月3日(金)  
第3回:令和3年 11月19日(金) 第4回:令和4年 2月4日(金)

⇒時間帯はいずれも午後